

第 22 回羽村市地域教育シンポジウム

担当：生涯学習総務課

1 目 的

地域の教育力の向上を目的とし、子どもたちが感じている学校や家庭、地域（大人）への思いを発表できる場として実施する。

学校・家庭・地域の問題をテーマとして設定し、大人と子どもが素直に意見を交換する。

2 日 時

令和 2 年 1 月 18 日（土）午後 2 時～午後 4 時 15 分

3 会 場

羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホール

4 テーマ

子どもの気持ち・大人の気持ち ～身近な決まりごとについて～

5 構 成

〈タイムスケジュール〉

13:30～14:00 受付

14:00～14:10 開会の辞、主催者挨拶（趣旨説明）

14:10～16:12 シンポジウム

14:10～14:25（15 分間） 羽村第一中学校・都立羽村高校演劇部による寸劇

14:25～14:30（5 分間） 移動・休憩

14:30～15:20（50 分間） グループ討議：小学生グループ×2・中学生グループ

15:20～15:30（10 分間） 移動・休憩

15:30～15:39（9 分間） 発表（3 グループ×1 グループ約 3 分）

15:39～16:12（33 分間） 全体会（意見交換）

16:12～16:15 閉会の辞

6 共 催

羽村市教育委員会／第 22 回羽村市地域教育シンポジウム実行委員会（羽村市立小・中学校 PTA 連合会、羽村市青少年対策地区委員会連絡協議会、羽村市青少年育成委員会、羽村市立小・中学校副校長会、杏林大学）